

岡山後楽館高等学校の生徒による 「思わず参加したくなるような投票式の吸い殻入れ」の実証実験

岡山後楽館高等学校の生徒たちが、岡山市民の憩いの場である緑豊かな西川の景観を守るための第一歩として、喫煙者の方々に灰皿の使用を意識してもらうよう「投票式の吸い殻入れ」の設置を行い、吸い殻のポイ捨て状況の変化を調査します。

1 調査期間(投票式吸い殻入れ設置期間)

令和5年8月1日(火)～8月31日(木)

2 調査場所

西川緑道公園の時計台のある東屋(北区富田町)

※岡山県警察本部鑑識科学センター別館向かい側(裏面の地図を参照)

3 調査内容及び現地説明会

岡山後楽館高等学校の学生が、学生が自ら考え実践する総合学習の活動として、「投票式の吸い殻入れ」設置前(令和5年7月)と設置後(令和5年8月)に、吸い殻入れ周辺の吸い殻のポイ捨て状況を調査し、「投票式の吸い殻入れ」によるポイ捨て状況の変化を検証します。

「投票式の吸い殻入れ」とは、灰皿に二者択一の設問を記載し、ナッジ的なアプローチ(行動経済学)により、つい使いたくなる仕組みを取り入れたものです。吸い殻を自身が選んだ設問箇所に捨てることができます。

【現地説明会】

○日時 令和5年8月2日(水)午前9時～(30分程度)

○参加者 岡山後楽館高等学校の担当教諭及び生徒
岡山市環境事業課の担当職員



投票式の吸い殻入れ

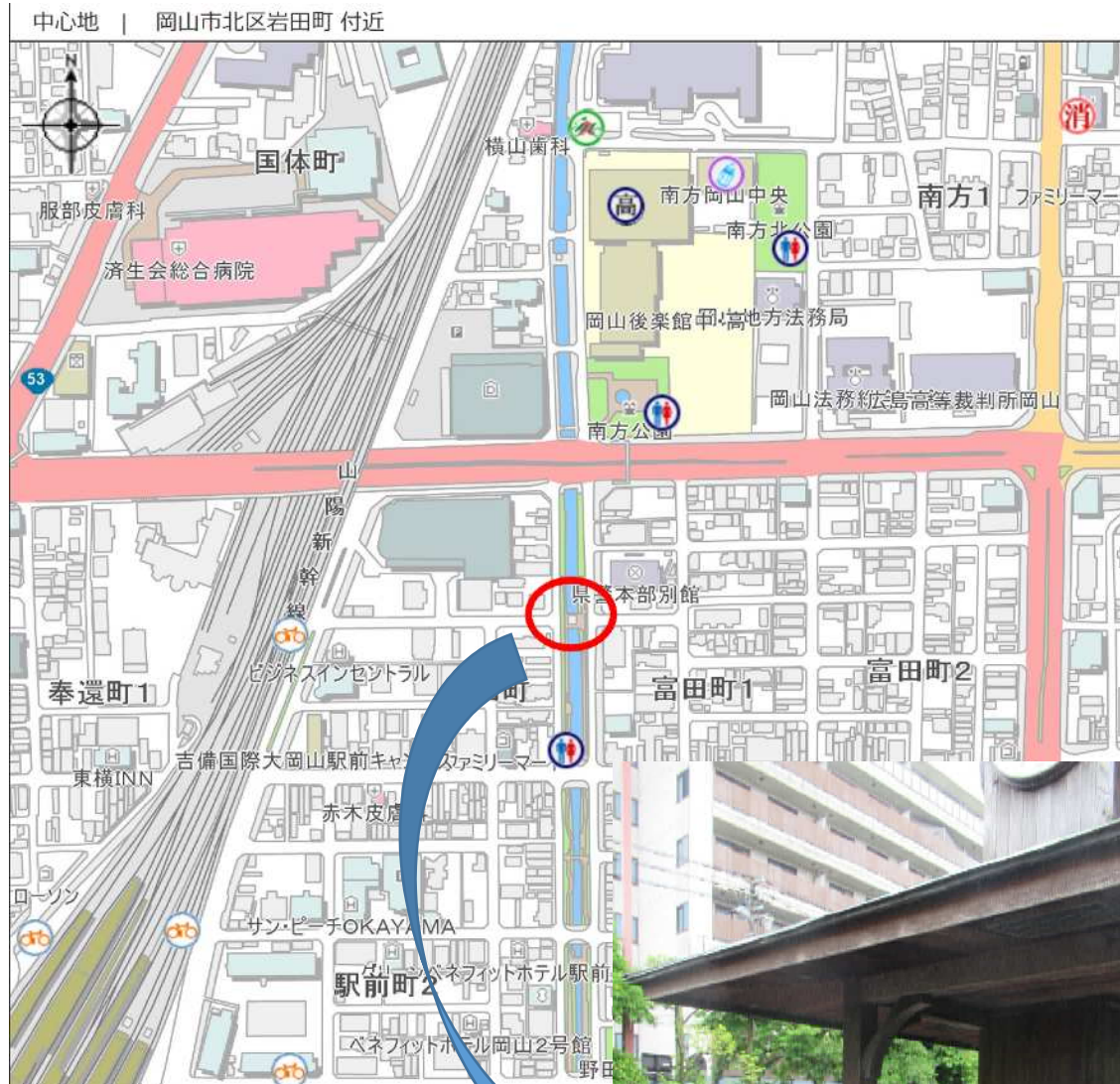


投票式の吸い殻入れ
設置場所の東屋

【問い合わせ先】

岡山市 環境事業課資源循環推進室 平田 直通086-803-1321 内線3966・3977

付近の見取り図及び設置場所



東屋の北側の屋根下に設置